

第97期通常総代会の開催について

2022年6月15日

当金庫は、2022年6月15日（水）に第97期通常総代会を開催いたしました。
下記の事項を報告ならびに決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年度（第97期）決算概要

(1) 業容について

科 目	残 高	前 期 比
預 金 ・ 積 金	8,052 億円	247 億円増 (3.1%増)
貸 出 金	4,453 億円	30 億円増 (0.6%増)

預金・積金は「インターネット支店開設4周年記念定期預金」の発売などにより、5期連続の増加となりました。

貸出金はローンセンターによる住宅ローンの推進等により、9期連続で増加しました。

(2) 利益等について

科 目	実 績	前 期 比
経 常 収 益	10,213 百万円	76 百万円増 (0.7%増)
実質業務純益	1,730 百万円	328 百万円増 (23.4%増)
経 常 利 益	1,313 百万円	287 百万円増 (28.0%増)
当 期 純 利 益	841 百万円	84 百万円増 (11.2%増)
利 益 剰 余 金	43,914 百万円	730 百万円増 (1.6%増)

貸出金利回り低下の影響を受け、貸出金利息収入は減少したものの、預金の増加分および預け金からの預け替え分の有価証券への投資や、低利率の債券の入替等により、有価証券利息配当金が増加した結果、経常収益は増収となりました。また、経費の減少等により実質業務純益も増益となりました。

なお、出資配当率については従来通り4.00%を維持いたしました。

(3) 不良債権の処理状況について

不良債権額は19,489百万円（前期比1,176百万円増加）、不良債権比率は4.36%（前期比0.23ポイント上昇）となりました。担保処分や債権売却、部分直接償却の実施により不良債権額の減少に努めましたが、予防的なランクダウンや、破綻懸念先への資金繰り支援等の実施により不良債権額は増加しました。

(4) 自己資本比率（国内基準）について

自己資本比率は11.25%となり、国内基準の4.00%を大きく上回っております。

2. 2022年度計画について

科 目	計 画
経 常 収 益	10,002 百万円
実質業務純益	1,701 百万円
経 常 利 益	1,371 百万円
当 期 純 利 益	665 百万円

2022年度においても、お客様や地域の課題解決に向けた伴走型支援を実施することにより、地域金融機関としての役割を果たしていきたいと考えており、預金・積金残高 8,040 億円、貸出金残高は 4,583 億円（10期連続の増加）を計画しています。

3. 役員異動

(1) 新任

片山 功一郎

(2) 退任

高先 和典



4. 最近のトピックス

2022年5月16日に海岸支店・吉浦支店を新築建替え（移転）オープンしました。

新店舗は、地域との調和をイメージしたデザインとしつつ、災害に強く防犯に優れた堅牢な建物とするとともに、ユニバーサルデザインの採用や車両出入の安全面を考慮した設計としていますので、幅広い世代のお客さまに気軽にお立ち寄りいただけます。また、お客さまとの時間を大切にするため、お客さまとのタッチポイントには全てローカウンターを採用しております。

今後も、地域の皆さま方へのより良い金融サービスの提供に努め、地域に長く愛される店舗を目指してまいります。



笑顔と笑顔のおつきあい

呉信用金庫

